

# 商業（電子商取引）

履修単位	2単位	学年	3年	学科	商業科	コース	情報コース	区分	必修・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
------	-----	----	----	----	-----	-----	-------	----	--

## 1 学習内容と学習目標

この科目は(1)情報通信技術の進歩とビジネス, (2)コンテンツの制作, (3)ウェブデザインと広告・広報, (4)ウェブページの公開, (5)電子商取引とビジネスの内容について学習する。

情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を習得し, 情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解するとともに, 情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を身に付けることを目標とする。

## 2 教材等

教科書：電子商取引 新訂版（東京法令出版）

補助教材：

## 3 年間学習計画

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
一 学 期	2年次の学習内容の復習	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2年次の学習内容を復習し, 3年次での学習が円滑に行えるようにする。</li> <li>○ 通信ネットワークの仕組みや役割について理解する。</li> <li>○ ウェブページを管理・運営するために必要なネットワーク機器の基本的な知識を習得する。</li> </ul>	中間 考査
	第4章 ウェブページの公開 1 ネットワーク機器の種類と機能	5		
	2 ハードウェアとソフトウェアの導入	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ サーバの機能について理解する。</li> <li>○ ハードソフトウェアとソフトウェアについて理解する。</li> <li>○ ネットワークの構築について理解する。</li> <li>○ ウェブページを公開するための手順について理解する。</li> <li>○ インターネットの基礎的な知識を習得する。</li> </ul>	期 末 考 査
	3 ウェブページの公開	7		
《課題・提出等》 ノート, プリント, 小テスト(訂正を含む), 宅習課題, 各種作品, 考査訂正 等 《第1学期の評価方法》 定期考査, 授業態度(出欠含む), 課題提出状況, 実習への取組状況等を総合的に評価する。				
二 学 期	第5章 電子商取引とビジネス 1 電子商取引のしくみ	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電子商取引の意義や役割について理解する。</li> <li>○ 電子商取引サイト開業に必要な手順を理解する。</li> <li>○ 店舗運営を行うための基礎的な知識を習得する。</li> </ul>	中間 考査
	2 企業間取引と企業・消費者間取引	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取引対象が異なる電子商取引の違いを理解する。</li> </ul>
	3 電子決済のしくみと方法	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電子決済の意義や方法について理解する。</li> <li>○ 電子商取引を行うためのシステム構築方法を理解する。</li> <li>○ ウェブページ作成ソフトウェア等を使って構築する技法を習得する。</li> </ul>	期 末 考 査
	4 電子商取引システムの作成	12		
《課題・提出等》 ノート, プリント, 小テスト(訂正を含む), 宅習課題, 各種作品, 考査訂正 等 《第2学期の評価方法》 定期考査, 授業態度(出欠含む), 課題提出状況, 実習への取組状況等を総合的に評価する。				
三 学 期	授業のまとめ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 状況に応じて, 各種作品制作を行う。</li> <li>○ 外部機関と連携した取り組みを行う場合がある。</li> </ul>	考 卒 査 業
	《課題・提出等》 ノート, プリント, 小テスト(訂正を含む), 宅習課題, 各種作品 等			
	《第3学期の評価方法》 定期考査, 授業態度(出欠含む), 課題提出状況, 実習への取組状況等を総合的に評価する。			
《年間の学習状況の評価方法》 学習状況は, 後に示した4観点から評価した1学期の成績・2学期の成績・3学期の成績を総合的に判断し, 年間の学習成績として評価します。				

#### 4 評価の観点と評価方法

学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4つの観点から評価する。具体的な評価基準は下表のとおりである。

評価の観点と趣旨		評価方法
関心・意欲・態度	ビジネスにおける電子商取引の必要性に関心を持ち、商取引に情報通信技術を活用しようとする意欲があるか。電子商取引に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしているか。	授業態度・考査・課題提出
思考・判断・表現	電子商取引を行うために目的に応じた方法等を考え、顧客の立場に立ったデザイン加工や、分かりやすい情報発信のための工夫ができるか。知的財産権を意識した作品制作を行うことができるか。	実習への取組・授業態度・考査・提出作品
技能	マルチメディアを利用した情報発信に必要な技術を身に付け、作品制作に活用できているか。	実習への取組・考査・提出作品
知識・理解	ビジネスにおける電子商取引の意義や役割を理解し、マルチメディア利用した情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析、企画・立案、制作、公開の手法を身に付けているか。	実習への取組・考査・提出作品

#### 5 授業を受ける際の注意事項

- ・科目「電子商取引」は、2年次からの継続履修である。
- ・外部機関と連携した実践的な取り組みを行う場合がある。
- ・学期ごとの定期考査の結果、30点に満たない生徒へは追指導を実施する。
- ・いろんな場面でいろんな考え方(アルゴリズム)が必要であることについて深く理解する。
- ・このシラバスは、あくまでも予定であり学校行事やその他の理由などにより変更等になる場合がある。